



TITLE:

# 第21回物性若手「夏の学校」開催 後記

AUTHOR(S):

---

CITATION:

第21回物性若手「夏の学校」開催後記. 物性研究 1976, 27(3): 92-93

ISSUE DATE:

1976-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89265>

RIGHT:

## 第21回物性若手「夏の学校」開催後記

物性若手グループ東工大支部

昭和51年度物性若手夏の学校は、7月27日～8月2日の一週間、原子核三者に引き続き、長野県野沢温泉村で開催されました。参加者は350余名。（女性10名）。大半は修士課程の学生でした。例年通り、全体講義及びサブゼミが行なわれ有意義な成果があげられましたが、ここにその報告を致します。

夏の学校は参加者の主体的・積極的活動にその基盤をおくものであります。そこで、今回の全体講義は、従来行なわれてきた10のサブの各分野に対応した構成を試みました。また、昨年度の方針を引継ぎ、具体的には次の内容で17名の先生に講師担当を依頼しました。

- 6コース×3日間、延べ18の講義を行なう。
- 講義は、トピック的な内容についての解説として行なう。
- 講義時間は6時間（午前・午後各3時間）とし、30分程度の質疑の時間を設ける。
- 受講に必要な予備知識、参考文献を含む予稿の執筆を全ての講師に依頼し、これを編集し、参加者に配布する。

以上の企画は、聴講者数がほぼ均等化した点で成功した様に思われます。しかし、物性以外の分野の講義がなかった事、日程が詰まり過ぎた事など、改善すべき問題も多い。これについては、運営面の問題も含め、30日の夜に行なわれた総会において、活発に討論されました。

今回の新しい企画として映画会が28日夜、開かれました。最初は、物性研究者を対象としたものを用意する予定でしたが、それがならず、一般向けの映画となりました。フィルムは日本科学技術振興財団普及事業部より借用したもので、「結晶を作る」「液晶」「奇妙な世界・極低温へ」の3本が上映されました。視覚に訴える映画の効用は大したもので、一般向けではあったものの、新鮮な印象を受けた人が多かった様に見受けられました。

後半の3日間、8グループのサブゼミが行なわれました。その内容については企画に

あたって各世話人からの報告を読んでいただきたい。(後で、本誌に掲載して頂く予定です。)

最後に、開催に協力して頂きました方々、諸機関に厚く御礼申し上げます。特に、講師の方々には、予稿作成、講義の準備等に、貴重な時間をさいていただき、また、切符入手、道中の混雑に御苦勞をおかけしました。深く感謝すると共に、不十分な待遇をお詫び致します。

## 全 体 講 義 報 告

### プログラム

7月28日

- |                 |       |         |
|-----------------|-------|---------|
| ◦遷移金属のバンド構造と磁性  | 東大物性研 | 浅 野 摂 郎 |
| ◦誘電体結晶における逐次相転移 | 東工大理  | 弘 津 俊 輔 |
| ◦原子レベルでの電子顕微鏡学  |       |         |

#### — レンズ結像型電子顕微鏡像コントラスト —

- |          |       |         |
|----------|-------|---------|
|          | 阪 大 工 | 橋 本 初次郎 |
| ◦ランダム磁性体 | 東工大理  | 小 口 武 彦 |
| ◦非平衡開放系  | 京 大 理 | 富 田 和 久 |

7月29日

- |                  |       |         |
|------------------|-------|---------|
| ◦超伝導体における磁性不純物効果 | 名 大 理 | 益 田 義 賀 |
| ◦金属・非金属転移        | 東 大 理 | 上 村 洸   |
| ◦構造相転移の動的機構      |       |         |

#### — 実験家からみたその研究のいままでとこれから —

- |                |       |         |
|----------------|-------|---------|
|                | 名 大 工 | 八 田 一 郎 |
| ◦液体の転位論        | 東 大 理 | 鈴 木 秀 次 |
| ◦非単純金属液体の電氣的性質 | 東工大理  | 石 田 義 明 |
| ◦臨界現象における展開理論  | 東大教養  | 阿 部 龍 蔵 |